

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030G8	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	杉村 乾 / Ken Sugimura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	杉村 乾 / Ken Sugimura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	杉村 乾 / Ken Sugimura		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 414 社会環境資料解析室2(4F)		
対象学生(クラス等) / Object Student	環境科学部1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-sugimura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境本館 426室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2719		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午前10~12時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境問題に焦点を当てつつ、生態系と社会の関係について、様々な事例を通して多面的な角度から考える能力を養うとともに、基礎的な知識を習得する。		
授業到達目標/Goal	環境問題の背景、生態系と社会の関係、解決への道筋など、根本的な事柄が理解できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	生態系と社会の関係について、どのように捉えればよいか考えるために選ばれた教科書を輪読しつつ、適宜、板書などによって解説を与える。また、文献検索、野外観察などの演習を行う。さらに、各自テーマを選び、問題のとらえ方、解決への道筋などについて考えさせるとともに、情報収集なども含め、指導を行う。		
授業内容/Class outline/Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	研究発表の準備、議論の整理		
キーワード/Key word	生態系と社会、環境問題の理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料配付		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート(30%) 演習での発表(70%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	生態系から受ける恩恵なしで、我々は生きていくことはできません。一方で、日本は豊かな自然、四季に恵まれています。環境問題は幅広く、複雑、不明瞭なことが多いですが、ゼロから学ぶ気持ちでチャレンジしましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境問題とは何か(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	地球規模と地域レベルの考察; 課題研究テーマの選択		
第6回	生物多様性と社会(1)(輪読)		
第7回	生物多様性と社会(2)(輪読)		
第8回	生物多様性と社会(3)(輪読)		
第9回	野外学習: キャンパス内外の自然環境		
第10回	課題研究についての中間報告、レポートの書き方について		
第11回	公害問題の歴史(1)グループワーク		

第12回	公害問題の歴史（2）グループワーク
第13回	公害問題の歴史（3）グループワーク
第14回	レポート報告、ディスカッション
第15回	まとめ、疑問点についてのディスカッション
第16回	予備日

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030G9	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 402 フィールドリサーチ解析室(4F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい: 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ: 専門科目への橋渡しの役割。科学的思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標: 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法: 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
第2回	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
第3回	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ルーブリック)【4/20(木) 2限目】
第4回	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
第5回	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
第6回	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	第7回 環境科学へのいざない(講義)
第8回	第8回 環境科学へのいざない(演習)
第9回	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
第13回	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H1	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 428 社会環境資料解析室3(4F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40%		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
第2回	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
第3回	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ルーブリック)【4/20(木) 2限目】
第4回	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
第5回	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
第6回	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	第7回 環境科学へのいざない(講義)
第8回	第8回 環境科学へのいざない(演習)
第9回	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
第13回	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H2	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 437 社会環境資料解析室1(4F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
2	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
3	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ループリック)【4/20(木) 2限目】
4	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
5	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
6	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
7	第7回 環境科学へのいざない(講義)
8	第8回 環境科学へのいざない(演習)
9	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
10	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
11	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
12	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
13	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
14	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
15	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H3	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 健一 / Matsumoto Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 健一 / Matsumoto Kenichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 健一 / Matsumoto Kenichi		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 444 環境政策実験室1(4F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenichimatsu [at] nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部453室		
担当教員TEL/Tel	2735		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポを取ってください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成</p> <p>第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】 第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ループリック)【4/20(木) 2限目】 第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】 第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】 第6回 専門教育科目の履修ガイダンス 第7回 環境科学へのいざない(講義) 第8回 環境科学へのいざない(演習) 第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション 第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当) 第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告 第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 第15回 総合討論会(講評、総括)</p>		
キーワード/Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40%
受講要件(履修条件)/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
2	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
3	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ループリック)【4/20(木) 2限目】
4	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
5	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
6	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
7	第7回 環境科学へのいざない(講義)
8	第8回 環境科学へのいざない(演習)
9	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
10	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
11	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
12	第12回 キャリア教育:自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
13	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
14	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
15	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H4	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 420 自習室又はフィールドリサーチ準備室		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	吉田護:yoshida-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	吉田護:環433		
担当教員TEL/Tel	吉田護:095-819-2733		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにて日時を連絡調整してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ようこそ長崎大学環境科学部へ		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	上級生による短期派遣留学の報告会		

第3回	大教センター教員による演習
第4回	大教センター教員による演習
第5回	大教センター教員による演習
第6回	専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	環境科学へのいざない(講義)
第8回	資料収集ガイダンスの受講
第9回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	キャリア教育
第13回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H5	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井口 恵一朗 / Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井口 恵一朗 / Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井口 恵一朗 / Iguchi Keiichiro		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 341 環境放射能実験室(3F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい: 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ: 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標: 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法: 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
第2回	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
第3回	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ルーブリック)【4/20(木) 2限目】
第4回	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
第5回	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
第6回	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	第7回 環境科学へのいざない(講義)
第8回	第8回 環境科学へのいざない(演習)
第9回	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
第13回	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H6	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	岡田 二郎 / Okada Jiro		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 242 動物生態学実験室(2F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
第2回	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
第3回	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ルーブリック)【4/20(木) 2限目】
第4回	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
第5回	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
第6回	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	第7回 環境科学へのいざない(講義)
第8回	第8回 環境科学へのいざない(演習)
第9回	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
第13回	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H7	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 229 環境生理学実験室又は打合せ会議ゼミ室(2F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
第2回	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
第3回	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ルーブリック)【4/20(木) 2限目】
第4回	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
第5回	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
第6回	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	第7回 環境科学へのいざない(講義)
第8回	第8回 環境科学へのいざない(演習)
第9回	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
第13回	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	201705810030H9	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 117 学生実験室 B (1F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
第2回	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
第3回	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ルーブリック)【4/20(木) 2限目】
第4回	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
第5回	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
第6回	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
第7回	第7回 環境科学へのいざない(講義)
第8回	第8回 環境科学へのいざない(演習)
第9回	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
第10回	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
第11回	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
第12回	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
第13回	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第14回	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
第15回	第15回 総合討論会(講評、総括)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003011	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 312 打合せ会議ゼミ室(3F)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業のねらい：新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p> <p>授業の位置づけ：専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>授業到達目標： 知的活動への動機づけを高める。 科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。 文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>授業方法：受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介
2	第2回 図書館資料収集ガイダンスの受講【4/13(木) or 4/14(金) 2限目】
3	第3回 大教センター教員による演習(ライティングスキル・レポートルール・ループリック)【4/20(木) 2限目】
4	第4回 大教センター教員による演習(グループワーク・プレゼンテーション・スキル)【4/27(木) 2限目】
5	第5回 大教センター教員による演習(アクティブラーニング・ポートフォリオ)【5/11(木) 2限目】
6	第6回 専門教育科目の履修ガイダンス
7	第7回 環境科学へのいざない(講義)
8	第8回 環境科学へのいざない(演習)
9	第9回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義
10	第10回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション
11	第11回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告
12	第12回 キャリア教育：自分の進路を考える(6/26(月) 5限目 就職委員会担当)
13	第13回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告
14	第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出
15	第15回 総合討論会(講評、総括)